

①題：「よい麦も悪い麦も」(29分)

説教者 : 伊藤裕史

聖書朗読 : マタイによる福音書 13 : 24~30

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『キリストの実物教訓』4章

「毒麦の根と良い麦の根がからみ合っているように、偽りの兄弟も、真の弟子とかたく結びついている。そして、これらのにせ兄弟の正体がまだ十分にあらわされていない。もし彼らが教会から除外されるとすると、固く信仰にとどまるはずの者までが、そのためにつまずいてしまうのである」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 18番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 346番

②題：「起きよ、光を放て」(23分)

説教者 : 稲田 勤

聖書朗読 : マタイによる福音書 5 : 14~16

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『キリストの実物教訓』316頁

「私達がキリストと協力できるのは、私達の生活に、キリストの品性をあらわすことによるのみである。・・神に仕える者が、その日常生活において、律法の原則を実行して、キリストの模範に従う時、すなわち、何をしても、その行為によって、彼らが神を何者よりも愛し、隣人を自分のように愛していることを示す時に、教会は、世界を動かす力を持つようになるのである。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 6番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 355番

③題：「狭い門から」(27分)

説教者 : 浦島靖成

聖書朗読 : マタイによる福音書 7 : 13,14

瞑想の言葉 : E・G・ホワイト『キリストへの道』101頁

「おのれを忘れて他人のために働く精神は、その人の性格に深さと落ち着き、キリストのようなるわしさを加え平和と幸福をもたらします。かれの抱負は高められ、怠惰とか利己心の余地はなくなります。こうして、クリスチャンの美德を実行する人は成長し強くなり、神のために働きます。・・・このように、他人の益のためにわれを忘れて働く者は、必ず自分の救いを全うするのであります。」

始めの讃美歌 : 希望の讃美歌 114番

終わりの讃美歌 : 希望の讃美歌 363番

◆お知らせ

アドベンチストメディアセンターホームページ (<http://www.adventistmedia.jp/video/worship/>)
に礼拝プログラムのファイルを公開しております。週報の作成などご利用ください。